

福島県学校体育研究連合会

福島県学校体育研究連合会会長

森 知高（福島大学 人間発達文化学類教授）

福島県学校体育研究連合会は、福島県小学校教育研究会体育部会、福島県連中学校教育研究会保健体育部会、福島県高等学校教育研究会保健体育部会を母体としながら、福島県内の学校体育関係者で構成されている。会長は、全国で唯一大学教員が務めている。この関係で事務局は、（平成 24 年度現在）福島大学人間発達文化学類に置かれている。副会長は、前述の各部会長が務め、それぞれの学校種の立場から会の運営に当たっている。本会の主たる事業は、1.功労者の表彰、2.各教育研究会部会への助成、3.講演会の開催、4.機関誌の発行、である。

1.については、全国学校体育優良校、功労者の推薦を行うとともに、本県独自に福島県学校体育優良校、および福島県学校体育功労者の表彰を行っている。長年、本県学校体育の振興に貢献のあった多くの先生方を表彰している。しかし、学力向上を謳うあまり、実技教科である体育の全校あげての研究に衰退傾向がみられ、このことに伴う優良校該当数の減少という現実を憂えている。3.については、年度ごとに、ローテーションで小学校・中学校・高等学校向けの課題を取り上げ、それぞれの専門の講師による講演を開催している。この際、開催校には、体育授業の公開をお願いし、会員による学校種を超えた協議の可能性を模索している。4.では、福島県学校体育研究連合会の諸活動を紹介するとともに、本会の調査委員会が毎年課題を設けて実施している調査結果も掲載し、会員の体育活動へ資するものとなるよう努力している。この機関誌は、県内の全校に 2 部ずつ配布している。

福島県は、東日本大震災の被害を受けるとともに、その後の東京電力原子力発電所事故による後遺症に未だ苦しんでいる。肥満児の割合は全国一になり、体力・運動能力の低下も心配されている。本連合会では、「ピンチをチャンスに」をスローガンに、学校体育を通じ、本県児童生徒の育成を目指している。折しも、平成 28 年度の全国学校体育研究大会の開催を引き受けることとなった。震災後の全県あげての復旧・復興の成果を全国の先生方にご覧にいただければと思っています。多数の先生方のご来県をお待ちしております。